点検の流れと要求性能の関係

【参考2】

従来手法による点検の流れ

技術者による近接目視

専門的な知識及び技能を有する技術者が近接目視（打音・触診等を含む）を実施

要求性能[A-1]
損傷写真の撮影
取得した画像の損傷判読精度

技術者による損傷検出

近接目視の結果を基に、専門的な知識及び技能を有する技術者が損傷を検出

要求性能[A-4]
損傷程度の評価区分の自動判別
損傷程度の評価区分の判別精度

・構造特性
・環境条件
・構造物の重要度

技術者による健全性の診断

点検結果や環境条件等に基づく総合的な判断として、専門的な知識及び技能を有する技術者が健全性の診断を実施

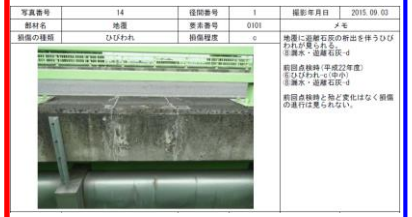
点検結果の記録

写真撮影・スケッチ

損傷の撮影・スケッチ

調書の作成

点検結果を調書に整理



写真番号	14	径間番号	1	撮影年月日	2015. 09. 03
部材名	地覆	要素番号	0101	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	地覆に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られる。 ※漏水・遊離石灰-d 前回点検時（平成22年度） ※ひびわれ-c（中小） ※漏水・遊離石灰-d 前回点検時と殆ど変化はなく損傷の進行は見られない。	

要求性能[A-2]
損傷写真の整理
損傷写真を自動で整理する機能の有無

要求性能[A-3]
損傷図の作成
損傷図を自動作成する機能の有無